

第 1 3 8 回 国 会 概 観

—第 2 次 橋 本 内 閣 の 発 足—

第138回国会（特別会）は、第41回衆議院議員総選挙の結果を受けて、11月7日に召集された。

会期については、召集日の両院本会議において12日までの6日間とすることを賛成多数により議決した。

召集日当日、衆参両本会議において内閣総理大臣の指名が行われた。

開会式は11日の午後1時から参議院議場で行われた。

今国会は、総理の所信表明演説及び代表質問は行われず、最終日の12日、両院本会議において、会期末手続き等が行われ、閉幕した。

【 議 院 の 構 成 等 】

召集日当日、参議院本会議では、議席の指定が行われた後、通信委員長に村上貞雄議員（社民）が選任された。また科学技術特別委員会等の8特別委員会が設置された。

衆議院では、はじめに議長及び副議長の選挙が行われ、無名投票の結果（投票総数499票、過半数250票）、議長に自民党の伊藤宗一郎議員が497票、副議長には新進党の渡部恒三議員が498票の、それぞれ過半数以上の投票を得て当選した。また議院運営委員長に平沼赳夫議員が選任された。

8日、衆議院本会議において議院運営委員長を除いた各常任委員長が選任された。また、災害対策特別委員会等の6特別委員会が設置された。

【 橋 本 内 閣 総 理 大 臣 の 指 名 】

11月7日の両院本会議において、内閣総理大臣の指名が行われた。記名投票の結果、橋本自民党総裁が、衆議院本会議において投票総数498票のうち262票、参議院本会議では投票総数248票のうち145票と、自民党のほか、「閣外協力」することとなった社民党、新党さきがけ等の協力を受け、それぞれ第1回目の投票で過半数以上の投票を得て、新進党の小沢一郎党首、民主党の菅直人代表、共産党の不破哲三委員長らを退け、第83代53人目の内閣総理大臣に指名された。

橋本総理は、指名された7日夕に組閣を行い、同日夜、皇居での親任式及び認証式を経て、3年3カ月ぶりの自民党単独政権となる第2次橋本内閣が発足した。

参議院からは、松浦功議員、岡野裕議員及び石井道子議員が入閣した。

橋本総理は、発足に当たって総理談話を発表し、行政改革、金融システム改革、経済構造改革、財政構造改革、効率的で質の高い社会保障・福祉政策実現の5項目を優先課題として取り組む決意を表明した。特に行政改革の中で、中央省庁の再編については最重要課題として挙げ、記者会見で行革を推進する総理直属機関について「私自身が会長か本部長の立場に立ち、その代理を総務庁長官にさせていただく」旨述べた。

【その他】

〔参議院比例代表選出議員の繰り上げ当選〕

中央選挙管理会は、10月8日、自治省内で選挙会を開き、山東昭子議員（自民）の辞職（10月2日）に伴う繰り上げ当選者を嶋崎均氏とすることを決定した。任期は平成10年7月25日までである。

〔参議院栃木選挙区補欠選挙〕

森山眞弓議員（自民）の辞職（9月20日）に伴う栃木選挙区補欠選挙は、10月3日告示され、同20日に投票、即日開票され、自民党の上吉原一天氏が当選した。任期は平成10年7月25日までである。

〔公職選挙法第90条による退職〕

10月8日、河本三郎議員（自民）は公職選挙法第90条により退職となった。

〔会派の解散及び結成等〕

11月5日、「社会民主党・護憲連合」から朝日俊弘議員、伊藤基隆議員、川橋幸子議員、峰崎直樹議員が、また「新党さきがけ」から中尾則幸議員がそれぞれ退会し、以上5名の議員をもって「民主党・市民連合」が結成された。

また同日、「参議院フォーラム」及び「自由連合」が解散し、所属していた江本孟紀議員、椎名素夫議員、末広真樹子議員、田村公平議員の4名をもって「無所属クラブ」が結成された。